

「アナウンス決勝課題」

最高速度300キロの秋田新幹線「スーパーこまち」が
関西の在来線を走りました。

工場で製造された新型車両を在来線を使って運ぶ
めったに見られない光景とあって、
大勢の鉄道ファンが詰めかけました。

ことし3月、秋田新幹線にデビューした「スーパーこまち」は、
最高速度が時速300キロに達し、
あかね色の特徴ある車両は、
神戸市の工場など2か所で製造されています。

この日は、新しく製造された7両編成の車両が
神戸市の工場を出発し、貨物用の線路などを使って移動しました。
秋田新幹線の車輪の幅は、関西の在来線の線路の幅とは異なり、
そのままでは走れません。このため、車輪を台車ごと線路に
合うものと交換し、機関車でゆっくりとけん引していきました。
新しい車両を長距離で運ぶにはトレーラーやフェリーを使うことが
多く、線路を通るのは珍しいということだ、
関西を走る「スーパーこまち」を一目見ようと、
大勢の鉄道ファンが沿線の駅などに詰めかけていました。